

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIグローバルESGバランス・ファンド（為替ヘッジあり）（愛称：グリーンインパクト）」は、2022年5月30日に第3期決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「Lofans-クライメイト・トランジション（円ヘッジあり 円建）」及び「Lofans-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）」への投資を通じて、ESG投資及びインパクト投資の手法により、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第3期末（2022年5月30日）

基準価額	10,365円
純資産総額	310百万円
第3期	
騰落率	△7.6%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIグローバルESGバランス・ファンド （為替ヘッジあり） （愛称：グリーンインパクト）

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第3期（決算日2022年5月30日）

作成対象期間（2021年5月29日～2022年5月30日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2021年5月29日～2022年5月30日）



期 首：11,220円

期 末：10,365円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：△7.6%（分配金再投資ベース）

（注1）当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、ESG投資及びインパクト投資の手法により、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ワクチン接種拡大により新型コロナウイルス感染拡大の抑制効果が欧米等主要国で見られ、行動制限が緩和されたことから、経済活動が再開し企業業績の改善傾向が見られ、株価にプラス要因となったこと。
- ・新型コロナウイルス大流行の収束と経済活動正常化への期待から、株価が支援されたこと。

下落要因

- ・2021年9月～10月頃、米連邦準備制度理事会（FRB）によるテーパリング（量的緩和縮小）観測が強まったこと。
- ・2021年11月～12月頃、インフレ上昇への懸念とFRBのテーパリング加速と利上げ観測が強まったこと。
- ・2022年1月～3月、FRBによる利上げ観測が強まり、3月に利上げが実施されるとともに量的引締め（QT）開始が示されたこと、5月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で追加利上げと6月からの

QT開始が決定されたこと。

- ・2022年2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻により地政学的リスクが強まり、制裁によりエネルギー価格上昇の景気への悪影響が懸念されたこと。3月頃から中国主要都市で新型コロナウイルス感染拡大抑制へ向けたロックダウンにより世界経済への悪影響が懸念されたこと。

1万口当たりの費用明細

（2021年5月29日～2022年5月30日）

項 目	当期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	132 円	1.183 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 56 ）	（0.498）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 74 ）	（0.664）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	56	0.498	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 21 ）	（0.191）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 34 ）	（0.307）	開示資料等の作成・印刷費用等
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（0.000）	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	188	1.681	
期中の平均基準価額は、11,196円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

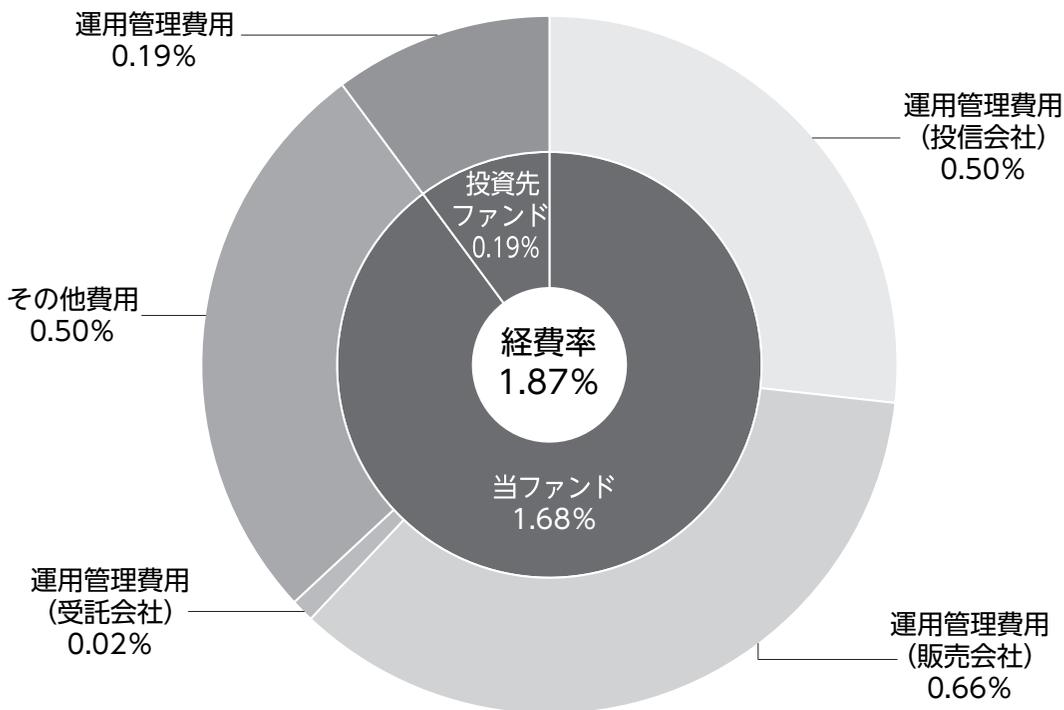
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.87%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.87
①当ファンドの費用の比率	1.68
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

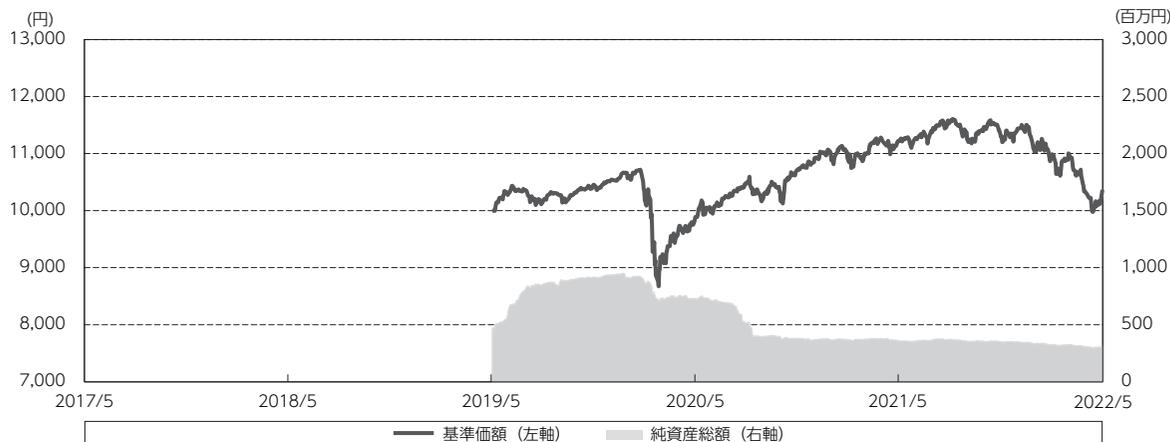
(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2017年5月28日～2022年5月30日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2019年5月30日から2022年5月30日）のみの記載となっております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

	2019年5月30日 設定日	2020年5月28日 決算日	2021年5月28日 決算日	2022年5月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,854	11,220	10,365
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.5	13.9	△ 7.6
純資産総額 (百万円)	470	732	357	310

(注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、ESG投資及びインパクト投資の手法により、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年5月28日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2021年5月29日～2022年5月30日）

※下記データ及びコメントにつきましては、本ファンドの主要投資対象である「LOファンズ-クライメイト・トランジション」及び「LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド」をそれぞれ運用するロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（スイス）エス・エー又はロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッド/アフーマティブ・インベストメント・マネジメント・パートナーズ・リミテッド（AIM）（以下、「ロンパー・オディエ社」と総称することとします）からの資料を基にSBIアセットマネジメントにて編集しています。

【株式市場】

2021年の先進国株式市場は、年間を通じて上昇基調が続きました。予想外のインフレ高止まりや金融政策の不透明感、中国大手不動産会社の債務不履行懸念、さらには新型コロナウイルスの新たな変異株の出現などにより調整する局面も見られましたが、新型コロナウイルスワクチン接種が進展したことによる経済活動の正常化や米国を中心とした堅調な企業業績を背景に総じてリスク選好姿勢を維持し、MSCI World指数は、昨年引き続き大きく上昇しました。

2022年の先進国株式市場については、インフレ懸念と各国中央銀行の金融政策が引き締め方向に転換されたことにより、先行き不透明感が高まり、軟調な推移が続いています。さらに、ロシアのウクライナ侵攻により国際商品価格が高騰し、インフレ圧力がさらに高まった上、中国の「ゼロ・コロナ政策」が、世界のサプライチェーンをさらに混乱させており、世界経済の成長に波及する懸念が出てきました。そのため市場ではリスク回避的な動きが続いています。MSCI World指数は、年初来で大きく下落しています。

【債券市場】

2021年の主要先進国の国債利回りは、年初から3月にかけて上昇した後、景況感やインフレ期待の上下に連れて変動する展開となりました。前半は、新型コロナウイルスワクチンの接種が進展したことで、世界的に景気回復期待が高まり、合わせてインフレ率の上昇を要因として、欧米の長期金利は上昇しました。その後夏場にかけては、新型コロナウイルス変異株デルタ型の感染急増があり、長期金利は一時低下しましたが、秋以降は欧米でのインフレ長期化の観測により、再度上昇しました。年末にかけては、変異株オミクロン型の出現により低下する局面もありましたが、重症化リスクが低いことから警戒感が和らぎ、金融政策の正常化が進むとの見方から再び上昇しました。

2022年の主要先進国の国債利回りは、総じて上昇しています。インフレ抑制のために米連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めにより一段と前向きな姿勢を示したことや欧州中央銀行（ECB）の金融政策正常化の前倒し観測やウクライナ危機に伴う資源高を受けて、国債が売られました。米国およびドイツの10年国債利回りは年初来で大幅に上昇しています。

当ファンドのポートフォリオ

（2021年5月29日～2022年5月30日）

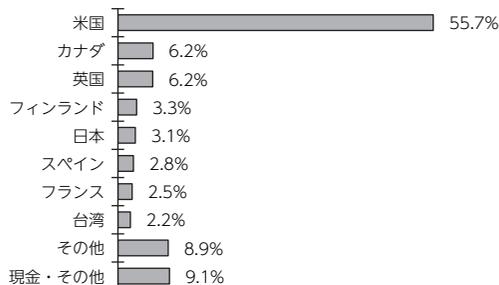
<当ファンド>

主として外国投資信託証券「L Oファンズ-クライメイト・トランジション（円ヘッジあり 円建）」及び「L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）」への投資を通じて、ESG投資及びインパクト投資の手法により、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、運用いたしました。

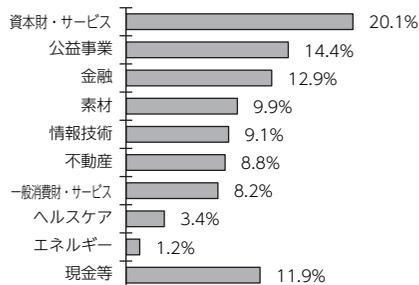
<L Oファンズ - クライメイト・トランジション（円ヘッジあり 円建）>

主として世界各国の株式等に投資し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。また、銘柄の選定にあたっては、ESGの観点を加味し、複数の側面から銘柄の分析を行い、選定いたしました。なお、直近4月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

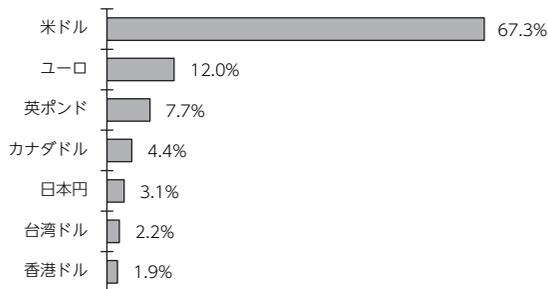
国・地域別構成



業種（セクター）別構成



通貨別構成



※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※各構成比率については、四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。

※業種別構成は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

【組入上位10銘柄】

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	ユナイテッド・レンタルズ (United Rentals, Inc)	米国	資本財・サービス	2.4%
2	ステランティス (Stellantis NV)	イタリア	一般消費財・サービス	2.4
3	ボストン・プロパティーズ (Boston Properties, Inc)	米国	不動産	2.4
4	キャリア・グローバル (Carrier Global Corp)	米国	資本財・サービス	2.4
5	セグロ (SEGRO PLC)	英国	不動産	2.3
6	台湾セミコンダクター (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd)	台湾	情報技術	2.3
7	ウェアハウザー (Weyerhaeuser Co)	米国	不動産	2.3
8	アメリカン・ウォーター・ワークス (American Water Works Co., Inc)	米国	公益事業	2.2
9	ネクステラ・エナジー (NextEra Energy, Inc)	米国	公益事業	2.2
10	ダナハー (Danaher Corp)	米国	ヘルスケア	2.2
組入銘柄数			54銘柄	

※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※組入上位10銘柄に記載の国・地域名は、発行国を表示しているため、主要取引所国とは一致しない場合があります。

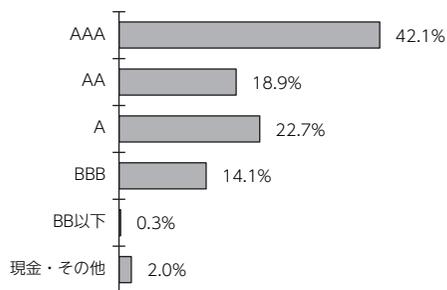
※業種は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

<LOファンズ - グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）>

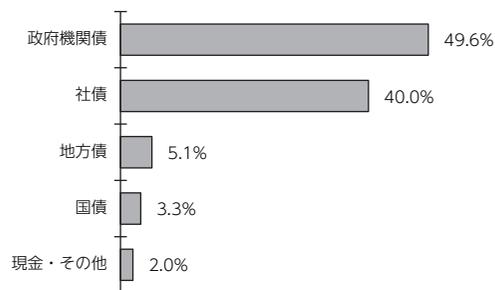
主として世界各国の債券等に投資し、気候変動の抑制/適応への貢献及びソーシャル・インパクトがあると考えられる債券を厳選し、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。

なお、直近4月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

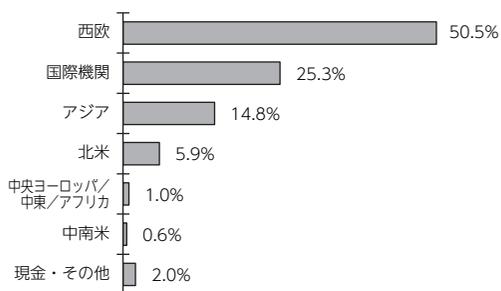
債券格付け構成



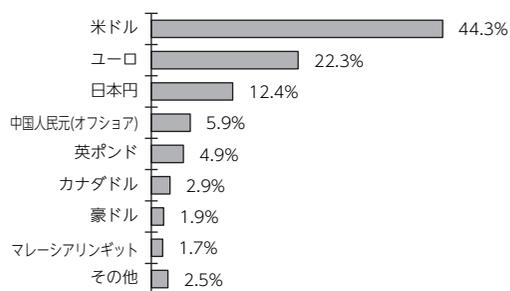
債券種別構成



地域別構成



通貨別構成



※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※格付はS&P・Moody'sの格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合はFitchの格付けを採用しています。

※各構成比率については、四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。

【ポートフォリオ構成】

平均クーポン（％）	1.46
平均残存期間（年）	6.37
平均格付け	AA-
修正デュレーション	5.85
組入銘柄数	168銘柄
最終利回り（％）	2.57

※「クーポン」とは、額面金額に対する単年の利息の割合です。

※格付はS&P・Moody'sの格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合はFitchの格付けを採用しています。

※「デュレーション」とは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標の一つであり、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。

※デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

※「最終利回り」とは、満期までの保有を前提とした場合における、投資元本に対する収益の割合を表す指標です。

※記載の内容は基準日現在のものであり、将来における運用成果をお約束するものではありません。

【組入上位10銘柄】

	発行体名	国・地域等	債券種別	クーポン	償還日	格付け	比率
1	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	0.75%	2030/9/30	AAA	3.4%
2	オランダ水道整備金融公庫	オランダ	政府機関債	2.38%	2026/3/24	AAA	3.3%
3	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	1.63%	2031/11/3	AAA	2.9%
4	国際開発協会	国際機関	政府機関債	1.00%	2030/12/3	AAA	2.9%
5	アジア開発銀行	国際機関	政府機関債	3.13%	2028/9/26	AAA	2.7%
6	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	0.75%	2026/2/19	AAA	2.3%
7	欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	1.63%	2031/5/13	AAA	2.2%
8	香港政府債	香港	国債	1.38%	2031/2/2	AA+	2.0%
9	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	1.00%	2026/10/1	AAA	1.8%
10	カナダ・オンタリオ州	カナダ	地方債	1.55%	2029/11/1	AA-	1.6%
	組入銘柄数				168銘柄		

※比率は組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※格付はS&P・Moody'sの格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合はFitchの格付けを採用しています。

※記載の内容は基準日現在のものであり、将来における運用成果をお約束するものではありません。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年5月29日～2022年5月30日）

当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、ESG投資及びインパクト投資の手法により、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

（2021年5月29日～2022年5月30日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第3期	
	2021年5月29日～ 2022年5月30日	
当期分配金	－	
(対基準価額比率)	－%	
当期の収益	－	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	984	

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、外国投資信託証券「LOファンズ-クライメイト・トランジション（円ヘッジあり 円建）」及び「LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）」への投資を通じて、ESG投資及びインパクト投資の手法により、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。また、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、運用いたします。

なお、運用にあたっては、実質基本投資割合を株式50%、債券50%を基準として±10%の範囲を原則としつつ運用を行います。

<LOファンズ-クライメイト・トランジション（円ヘッジあり 円建）>及び

<LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）>

当該外国投資信託を運用している、ロンバー・オディエ社は、以下のようにコメントをしています。

世界経済は、防疫と経済活動の両立が進む中で、堅調な労働市場と依然として低い金利が経済の下支えとなり消費や投資を中心に緩やかな回復基調が継続することが見込まれます。しかし、資源・エネルギー価格の高騰に拍車がかかっていることに加え、主要各国のインフレ抑制に向けた金融引き締め加速により、物価の上昇と景気の減速が同時に進むスタグフレーションのリスクが懸念されます。今後も先行きの不透明感が非常に強い状況が続くことが予想され、国債利回りは、上昇基調が続くことが想定されます。

ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー問題への対応策として欧州のみならず各国がクリーンエネルギーへの投資を加速させています。気候変動問題やサステナブル投資への機運は引き続き高く、当該ファンドにとって投資環境は魅力的であると考えています。

お知らせ

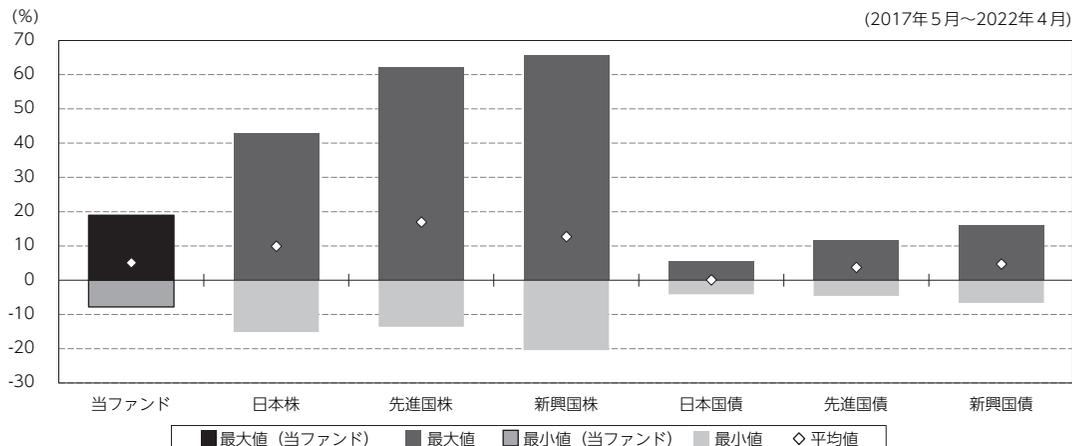
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	信託期間：2029年5月28日まで（設定日：2019年5月30日）
運用方針	この投資信託は、ESG投資及びインパクト投資の手法により、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資し、実質基本投資割合を株式50%、債券50%を基準として±10%の範囲を原則としつつ運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主要投資対象	外国投資信託証券「L Oファンズ-クライメイト・トランジション（円ヘッジあり 円建）」及び「L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）」を主要投資対象とします。
運用方法	主として外国投資信託証券「L Oファンズ-クライメイト・トランジション（円ヘッジあり 円建）」及び「L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）」への投資を通じて、ESG投資及びインパクト投資の手法により、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
分配方針	毎決算時（年1回、毎年5月28日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針により、分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.0	42.8	62.2	65.6	5.5	11.6	16.0
最小値	△ 7.8	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 4.1	△ 4.6	△ 6.6
平均値	5.1	9.9	17.0	12.7	0.1	3.7	4.7

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2017年5月から2022年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2020年5月末から2022年4月末のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2022年5月30日現在)

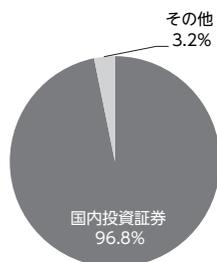
○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
	%
L○ファンズ-クライメイト・トランジション (円ヘッジあり 円建)	50.8
L○ファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド (円ヘッジあり 円建)	46.0
組入銘柄数	2銘柄

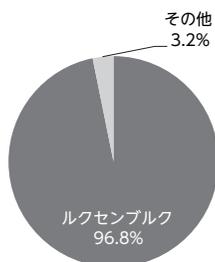
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

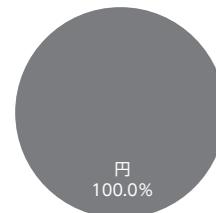
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第3期末
	2022年5月30日
純資産総額	310,641,860円
受益権総口数	299,701,813口
1万口当たり基準価額	10,365円

(注) 期中における追加設定元本額は53,498,914円、同解約元本額は72,735,281円です。

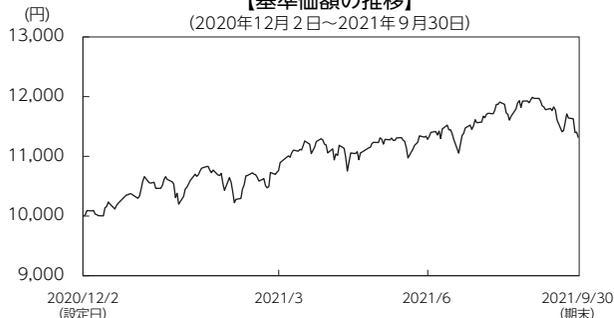
組入上位ファンドの概要

LOファンズ-クライメイト・トランジション（円ヘッジあり 円建）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】

(2020年12月2日～2021年9月30日)



【1万口当たりの費用明細】

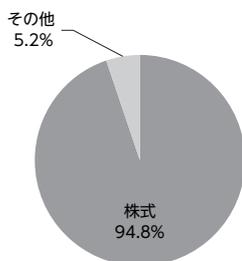
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

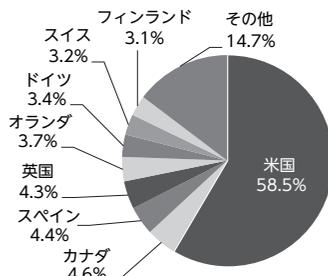
(2021年9月30日現在)

銘柄名	国・地域	通貨	業種名	比率
1 Crown Holdings, Inc	米国	ドル	素材	3.3%
2 Cummins Inc	米国	ドル	資本財・サービス	3.3%
3 Carrier Global Corp	米国	ドル	資本財・サービス	3.2%
4 Holcim Ltd	スイス	フラン	素材	3.2%
5 The TJX Companies, Inc	米国	ドル	一般消費財・サービス	3.0%
6 NextEra Energy, Inc	米国	ドル	公益事業	3.0%
7 Republic Services, Inc	米国	ドル	資本財・サービス	2.9%
8 Autodesk, Inc	米国	ドル	情報技術	2.7%
9 Brookfield Asset Management Inc	カナダ	ドル	金融	2.5%
10 Zoetis Inc	米国	ドル	ヘルスケア	2.5%
組入銘柄数				46銘柄

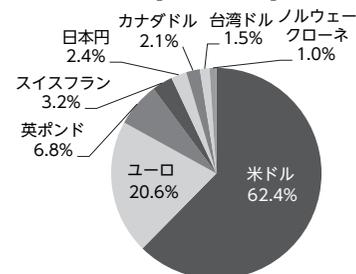
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2021年9月30日現在のものです。

(注2) 比率はいずれも主要組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

(注3) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

(注4) 業種は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】

（2020年10月1日～2021年9月30日）



【1万口当たりの費用明細】

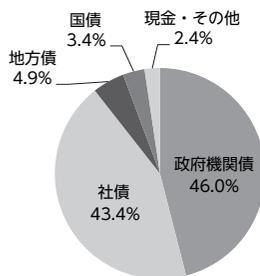
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

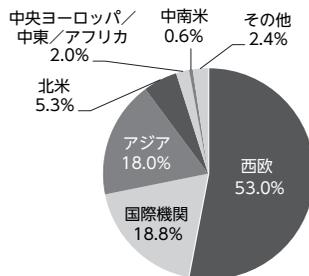
（2021年9月30日現在）

	銘柄名	国・地域	債券種別	比率
1	オランダ水道整備金融公庫	オランダ	政府機関債	3.0%
2	ノルウェー地方金融公社	ノルウェー	政府機関債	2.9%
3	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	2.8%
4	アジア開発銀行	国際機関	政府機関債	2.7%
5	国際開発協会	国際機関	政府機関債	2.6%
6	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	2.3%
7	香港政府債	香港	国債	2.0%
8	カナダ・オンタリオ州	カナダ	地方債	1.6%
9	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	1.5%
10	オランダ水道整備金融公庫	オランダ	政府機関債	1.3%
組入銘柄数			179銘柄	

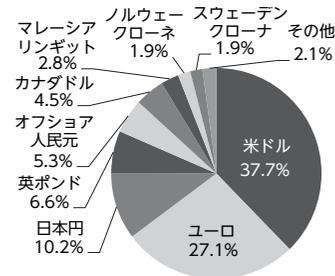
【資産別配分】



【国・地域別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分のデータは2021年9月30日現在のものです。

(注2) 比率はいずれも主要組入投資信託証券のポートフォリオに対する割合です。

(注3) 資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。